

学 生 だ よ り

<お国自慢>

こんにちは。岐阜県の山腰晃治さんからバトンを受け継いだ新潟県人です。今回はわが新潟県をご紹介します。

『新潟・豊かな自然と食』

医学科4年次 結 城 大 介

今回は、新潟県のお国自慢をさせていただくことになりました。新潟県人は県民性として、宣伝が下手なところがありますのであまり面白くなくともご容赦ください。

「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」。川端康成がこう書いたように、新潟といえば豪雪地帯として知られています。山間の土地では雪が1m以上積もり、生活を困難なものにしま

す。しかし一方でスキーなどの観光資源となり、また豊かな四季を演出してくれます。こうして新潟県民は自然と共存するようにして生きてきました。

また新潟県民は共存するだけでなく、自然をつくり

りかえることで生活をより豊かにしてきました。その代表的なものが水田です。古くは湿地であった土地を長い年月をかけて国内有数の稲作地帯にしました。生産量こそ北海道に次ぐ2位ですが、魚沼産のコシヒカリは高級米として確固たる地位を築いています。山のわずかな土地を利用して作った棚田は、美しい景観が注目されてきました。このように新潟と米は切っても切れない関係にあ

ります。米から作られる米菓や日本酒なども名物となっています。お酒のおつまみとして有名な「柿の種」も新潟県発祥で、いまでは全国で売られています。水がきれいなため日本酒も有名で、「越前寒梅」など有名なものがあります。また地ビールの生産も盛んです。さらに古くから漁港としても有名で、日本海の荒波の中で育った魚は身が引き締まっていて絶品です。



最近は政令指定都市になるなど都市としての発展もめざましいですが、新潟にお越しの際にはぜひ「食」を味わっていただければと思います。

